

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【企画部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	駅周辺整備 (芸術文化施設)	土地区画整理事業の進捗状況を見据え、駅南の開発、鉄道高架を含め、具体的な行動計画を作成。	H18.3	西本 勉 藤田幸正	H18.3	平成17年度新居浜駅周辺地区整備計画基礎調査で行動計画策定のための課題を抽出・整理	継続	平成18・19年度で行動計画を策定。計画策定委託は、本年6月下旬発注予定。
2	駅舎のリニューアル	引き続き、JR四国ほか関係者へ要望。	H18.3	藤田幸正	H18.4	要望に向けたJR四国の情報収集を実施。4月にJR新居浜駅駅長と面談し、地域整備の説明。(駅周辺整備室)	継続	駅周辺整備計画策定までにJR四国の意思確認ができるよう 要望を継続
3	貨物ヤードの移転	課題について検討を進めるとともに、引き続き関係機関へ働きかける。	H18.3	藤田幸正	H18.4	JR四国・JR貨物の情報収集を実施。4月にJR新居浜駅駅長と面談し、地域整備の説明。(駅周辺整備室)	継続	駅周辺整備計画策定までにJR四国・JR貨物の意思確認ができるよう 要望を継続
4	近代化産業ロマンの息づくまちづくり	所有者である住友企業各社と話し合いを進め、密接な連携の下、取り組みを前進させる。	H18.3	明智和彦	H18.3	3月に鉱山、化学、林業、共電に平成17年度の活動を報告し、平成18年度の事業を説明した。	継続	山田社宅の調査、登録有形文化財登録、説明板設置、広報番組制作等で協議していく。(平成17年度から実施している説明板設置は、18年度10箇所予定)
5	荷内沖の開発	社会経済情勢及び財政状況を勘案しながら、長期的な視点に立ち、引き続き慎重に検討。	H18.3	藤田幸正	H18.3	港務局による菊本沖埋め立てに関する手続きなど、現状把握と情報収集を図った。	継続	引き続き調査研究を進めていく。
6	新市建設計画の見通し	・別子山活性化推進住宅の整備 :平成18年度に建設予定地を確定、設計を行い、平成19年度に4戸建設。 ・別子山小学校校舎改修事業 :平成18年度にサッシ窓枠の改修を実施。 ・新居浜の文化財「改訂版作成(別子山の文化財含む)」:平成18年度に調査、平成19年度発行。	H18.3	二ノ宮定	H18年度～	・活性化推進住宅整備 :候補地の検討 ・小学校校舎改修事業 :7月工事発注に向け設計等準備 ・新居浜の文化財「改訂版作成」調査実施に向けた状況把握と準備	継続	・活性化推進住宅整備 :年度内に建設予定地の確定(9月下旬迄)と基本設計を行う ・小学校校舎改修事業 :夏休み期間中に改修予定 平成19年度内に 新居浜の文化財「改訂版作成」:平成18年度内に調査実施
7	情報公開・共有	平成18年度から庁議の議事録を公表。	H18.3	大條雅久	H18.4	4月から新居浜市ホームページにおいて公表。	完了	今後とも、継続して議事録を公表する。

8	補助金の執行	事業の成果・収支報告について、補助金等交付規則を遵守し、より明確で適正な補助金の執行に努める。	H18.3	伊藤初美	H18.4	年度当初における予算執行についての通知により、各課所に周知徹底を図った。	完了 (継続)	引き続き補助金の適正な執行に向けた事務の徹底に努めていく。
9	補助金公募制度	義務的に支出すべき補助金の根拠については、今後、精査。	H18.3	岡崎 溥	H18.4	担当部局に対し、義務的補助金についての見直し調査(7月25日期限)を依頼した。	継続	18年度補助金公募審査会において、各部局の調査結果を受けて精査する。(8月下旬予定)
10	アセットマネジメント	平成18年度は、実務者レベルの勉強会の報告を基に、導入に向けたより本格的な庁内組織を立ち上げ、システム選定の具体的な手法や、資産評価における外部コンサルタント等への委託の是非等について検討。	H18.3	仙波憲一	H19年度～	庁内組織の立ち上げは未達成。モデルケースとして市営住宅のLCC(ライフサイクルコスト)について検討を実施中。	継続	近日中に実務者レベルによる庁内組織の立ち上げ、外部委託を含め検討。
11	使用料・手数料の見直し	平成18年度のできるだけ早い時期に見直し案を作成。	H18.3	藤田幸正	H18.4～	H17年度に取り組んだ内容を整理、追加分のデータ収集。	継続	5月中にコスト計算、見直し基準作成、区分けを終了し、7月初旬までに見直し案を作成予定。
12	住民参加型ミニ市場公募債	発行可能な事業や規模について更に検討。	H18.3	二ノ宮定			未対応	随時、先進地事例の調査を実施。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【総務部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	災害時要援護者支援プランの策定	災害時要援護者支援プランの策定を始め、関係機関等との災害時応援協定の拡充など、速やかな災害対応が図れるよう努める。	H.18.3	仙波憲一	H18.5	災害時要援護者支援プランについては現在検討中である。関係機関との災害時応援協定のうち、物資供給等の協力については昨年度ジャスコと協定を結んでいるが、現在フジグラン新居浜と協定締結に向け協議を行っている。また、災害時における被災者に対する防災活動協力(水道水、トイレの提供など)に関する協定についても、締結に向けイオンモール(株)と協議を開始したところである。	継続	災害時要援護者支援モデルプラン作成は今年度の目標管理として取り組んでおり、今年度中に策定予定。関係機関との災害時応援協定については拡充に努めたい。

2	職員研修	行政運営の認識を統一するための職員研修に積極的に取り組んでいきたい。	H18.3	伊藤初美	H18.5	管理職を対象に産業遺産研修を実施するとともに、全職員を対象に後期戦略プラン研修を実施した。	完了 (継続)	適宜適切に実施する
3	職員の清掃について	今後、清掃業務の内容等、更に精査 検討する。	H18.3	真木増次郎		<p>17年度からは、執務室 会議室など共用部分以外の清掃回数を隔日とし、共用部分のワックス掛けの頻度を少なくする等その他の見直しをおこない委託料の削減を図った。議会答弁直後の18年度見直しは時間的制約のため見直せなかった。また、現在でも年度の途中に、委託内容の変更を行う事は現実的でない。</p> <p>ただし、自分たちの職場は自分たちで、整理 整頓 清掃は当然するものであり、市庁舎総合管理委託業務の中で、自分たちができる作業を見直し、清掃業務の内容等をさらに精査している。</p> <p>建築物の維持保全、快適職場環境の確保は、自前ですか、外部委託するかいずれにしても最小限必要であるので、19年度当初予算編成時までに結論を出す。</p>	継続	<p>見直しには、人事管理・労働条件 経費の削減効果 建築物の維持保全・快適職場環境の確保その他の課題など総合的に精査検討する必要があるため、なお時間を戴きたい。</p> <p>その他の課題の例示 (掃除道具の購入費 置き場の確保 雇用の機会を奪う事 掃除の水準の判定)</p> <p>課題等の整理 職員ができる範囲は？ 掃除の時間帯は？ 建築物の痛みの防止は？ 委託費と職員の人件費の対比は？</p>
4	郷松の端線の進捗状況	観音原側の市有地に関連した境界については、現在、境界確定に向け作業を実施している。今後も県と協力して事業の推進を図っていく。(新居浜市にかかる隣接地権者9人との境界確定について集中するように指示が出ている。)	H18.3	仙波 憲一	H18.5	平成17年4月以降、西条地方局との打合せを月に1度、同7月以降、隣接地権者との交渉を月1度以上行ってきた。議会答弁後、西条地方局と連携し、積極的に交渉した結果、6名の隣接地権者との境界がほぼ確定し、残る3名の隣接地権者とは西条地方局との連携を密にするなど、早期境界確定に向けた交渉を継続しています。	継続	予断を許さないが、今年度の早い時期に確定させたい。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【福祉部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し

1	若宮保育園と若水乳児園の補修	18年度早急に、両園の緊急を要する補修を実施する。	H18.3	西本 勉	H18.5	若宮保育園の修繕工事について発注(工期予定:18.5.11~18.7.14)	継続	若水乳児園の修繕工事について発注予定
2	父子家庭支援	父子家庭支援策について、愛媛県独自の事業を中心に、市政だよりへの掲載など、啓発に努める。	H18.3	伊藤初美	未	18年5月現在未実施	継続	18年度内の時期を見て、掲載したい。
3	高齢者虐待早期発見通報システム	関係機関との連携を図りながら検討。	H18.3	真木 増次郎	H18.4	各校区の地域ケアネットワーク推進協議会に参加して、早期発見 通報をお願いしている。	継続	地域ケアネットワーク推進協議会をベースにした「早期発見 通報体制」を構築する。
4	高齢者虐待防止のためのネットワークづくり	関係機関との連携を図りながらネットワークの仕組みづくりを検討。	H18.3	真木 増次郎	H18.4	ネットワーク構築に向けて、研修や情報収集を行っている。	継続	地域包括ケア会議の下部組織のひとつとして、ネットワークの構築を行う。
5	支え合いまちづくりのための情報提供・交換の場づくり	「地域包括支援ネットワーク」の構築の中で検討。	H18.3	伊藤 初美	未	18年5月現在未実施	継続	地域包括ケア会議の下部組織のひとつとして、地域の社会資源のネットワークを構築するとともに、社会資源マップ・リスト作成を行う。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【市民部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	職員の市民との協働に関する意識(市民活動推進課)	新居浜市まちづくり協働オフィス」の開設、協働事業推進のためのガイドライン」の策定を通じて、職員の市民との協働意識の高揚を図り、市民から信頼される職員であるように努める。	H18.3	伊藤初美	H18.5	「オフィス」は7月開設、「ガイドライン」は6月から検討予定であることから、各部局、課所の生涯学習推進担当(72名)に対して事業説明を行うとともに、市民との協働推進について、協力依頼を行った。	継続	市民との協働意識の高揚のため生涯学習推進担当を中心に研修の機会を設けることにしている。
2	戦中の個人の記録・記憶の保存(市民活動推進課)	既に発行されている体験記録集の発行団体と相談しながら、多くの市民に戦争体験が伝わるように努める。	H18.3	石川尚志	H18.4	郷土史談会、連合婦人会、原爆被害者等の市民活動団体等から発行されている体験記録集の調査・収集等を行った。	継続	8月に市役所ロビーで収集した記録集を展示し、閲覧、貴重な体験談の紹介などを行う予定。
3	戦中の生活用品、教科書の保存	短期的であれば市役所ロビーなどで展示することは可能なので、貴重な展示資料があれば多くの市民に見ていただけるように努める。	H18.3	石川尚志	H18.4	市民から展示資料を募集し、8月に市役所ロビーで展示することを検討中。	継続	展示資料があれば、上記記録集や原爆パネルなどと共に、市役所ロビーで展示する予定。

4	平和の大切さを啓発する講演会(市民活動推進課)	戦争体験、被爆体験を持つ市民に出前講座の講師として登録していただいたり、生涯学習大学の講座を開設するなど、平和の大切さ、いのちの尊さに関する意識の高揚を図る。	H18.3	石川尚志	H18.3	戦争体験、被爆体験を持つ市民に出前講座の登録を依頼し、2講座を出前講座メニューに掲載した。	継続	多くの市民が利用できるよう講座の広報に努め、平和に関する啓発を行っていく。
5	在住外国人の現状とサポート(市民活動推進課)	「外国人のための日本語教室」の開設、「外国人のための生活ガイドブック(英語版)」及び「ゴミカレンダー(英語版・中国語版)」の作成等をボランティア団体と協力し実施している。(ガイドブックは18年度予定)。総合相談窓口の設置要望もあるため、専門性をもつボランティア団体とも連携・協力しながら、外国人にとって住みよいまちづくりを目指す。	H18.3	明智 和彦	H18.4	平成18年度ゴミカレンダーは韓国語を新たに追加し、3ヶ国語を作成。また、在住外国人の現状や意見・提言など生の声を聞く場を設けるため、「在住外国人と市長とのふれあいトーク」を6月に実施予定。	継続	国際交流基本計画の見直しと連動し、在住外国人の支援のあり方について検討していく。
6	窓口請求時の本人確認の強化(市民課)	国や他市の動向にも注視しながら見直しに取り組む。	H18.3	藤原雅彦	H18.4	証明書の交付時における身分証明書等による本人確認について、全国その他自治体(市と東京都特別区)の実施状況を調査した。運転免許証・住基カード・パスポート等による本人確認を実施しているところが全体の1/4団体あった。(5月22日時点)	継続	今後も継続して、他市の状況、国の動向等を調査するとともに、先進地の状況を参考にしながら、要綱(案)等を作成し実施できる体制の整備を図る。
7	審議会等の情報公開・共有の充実(広報相談課)	審議会・委員会等の公開について、新居浜市審議会等の公開に関する要綱の趣旨を職員に十分理解してもらい、意識の浸透を図っていく。	H18.3	大條雅久	H18.3	審議会等に関する要綱について、電子掲示板に要綱の他、各課において実施すべきことをチャート式で掲載している他、要綱を遵守していないことが判明した場合、個別に助言を行っている。	継続	今後も継続して、庶務担当会等を活用して通知を行うなど、職員の意識の浸透を図っていく。
8	新居浜eネット(広報相談課)	新居浜eネットの動画配信に関して、今後、システムの内容・構成、費用及び体制、実施効果等について、「コミュニティFM」の導入検討も含め、地域に密着した災害時の情報提供手段の確立に向け調査研究を行っていく。	H18.3	藤原雅彦	H18.4	災害対応の観点では、当面、コミュニティFMに重点をおいて検討を進めており、本市財政の現状を伝えたくて、(株)ハートネットワークと費用・体制について改めて検討してもらうよう依頼している。	継続	新居浜eネットでの動画配信についても、必要経費、システム上の課題など、情報提供手段の多様化に対応していくための調査研究を行う。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【環境部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	道路の雨水排水	東雲地区の雨水排水を国領川へ放流する計画を進める。	H18.3	明智和彦	H18.3	現在、実施設計中で、地方局と国領川の河川占用協議中。	継続	18年度に占用許可を取得し、下流から整備予定。

2	雨水の利活用	他市の事例も参考にしながら調査研究。	H18.3	二ノ宮 定	H18.3	県下で雨水貯留施設設置に対する助成制度を行っている事例を調査する。	継続	各市の事例について、財源等詳細に調査し、実施について検討する。
3	沢津垣生海岸	国領川の堆積土砂使用など、愛媛県をはじめ、関係機関と協議、検討を引き続き行う	H18.3	藤田幸正	H18.3	漁場改良として取り組むことは可能だが、市或いは漁協が事業主体となる。県が海岸保全として取り組む考えは現在ない。	継続	海岸保全事業の新規着手要望を行う
4	県廃棄物処理センターの情報公開	廃棄物処理センターへの廃棄物処理委託費、搬入量などについて、市のホームページで公開したいと考えている。	H18.3	仙波憲一	H18.3	15年度から17年度の過去3カ年実績はごみ減量課のホームページに掲載済み。	完了	18年度から常時過去3カ年の実績を掲載する。
5	菊本最終処分場の延命	9種分別後の雑ごみと大型ごみを中間処理する設備を整備し、埋立処分量のさらなる減量化を図る。	H18.3	藤原雅彦	H20～	現清掃センター内に、雑ごみの選別ラインの整備を行い減量化を図る。	継続	18年度で中間処理設備設計、19年度で施工を行う
6	平成25年度のリサイクル率、一人一日あたり排出量の目標	平成20年度の中間見直し時期に目標値を設定	H18.3	藤原雅彦	H20	環境基本計画を平成20年度に見直す。	継続	その他プラスチックの資源化、減量施策を検討する。
7	ごみ有料化	ごみ減量課にて早い時期に新居浜市廃棄物減量等推進審議会に諮問する。	H18.3	大條雅久	H18	庁内組織で調査研究を実施し、H18.3月に市長へ報告。	継続	変更等のあった委員の委嘱換えが完了する6月に諮問する予定である。
8	リユース工房の整備	平成18年度は、福祉機器に加え、自転車のリユースに取り組み、リユース工房のあり方を詰める。	H18.3	大條雅久	H18～	リユースネットワーク支援事業の中で、NPO法人にて福祉機器、自転車等のリユースを試行する。	継続	リユースを試行する中で需要供給を検証し、工房整備についても検討する。
9	バイオマス資源の活用	国の補助制度等の情報収集を進め、民間のバイオマス資源の利活用の促進につながるよう対応。	H18.3	二ノ宮定	H18～	補助制度等の情報を収集し、商工会議所等を通じて、事業者へバイオマス資源の利用情報を提供する。	継続	制度情報を随時、商工会議所等に提供する。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【経済部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	定住促進策	定住促進の基本は働く場所の確保であるため、地域の産業おこしとして野菜や山菜の採算の取れるシステムづくりを図る	H18.3	仙波憲一		別子山短期滞在事業の中で有識者によるブランド創出委員会を組織し、特産品や食の地域ブランド品の創出をめざし、今後、地域の活性化に向けて取り組む予定である。(5月23日第1回委員会開催)	継続	特産品や食の分野における別子山ブランドの創出に伴い、働く場の確保が期待される。

2	企業立地政策	進出を希望する事業主に情報提供を行うソフト的な営業活動にシフト。市内の企業用地や空き工場の実態調査を進め、所有者の意向確認や情報提供の内容など、企業用地の斡旋策を具体的に検討。	H18.3	真木増次郎 藤田幸正		現在、実態調査と併せて要綱検討中であるが、進出企業等の問い合わせに対して同意を得ている用地の照会を個別に実施している。現時点では、東部工業団地内で住友化学所有地など6箇所の未利用地把握しており、住友化学に2件程紹介したが、成立に至っていない。	継続	今年度の早い時期(7月末予定)にシステムを構築する予定である。
3	勤労者支援について	労働会館の運営について、財団法人労働会館とともに支援策を検討する。また、労働社福祉協議会との定期的な情報交換会や労働関係団体との懇談会を設置し、ニーズに即した支援策を検討する。	H18.3	石川尚志	H18.3	5月25日開催の労働会館理事会終了後、労働会館理事長、連合愛媛新居浜地協及び労福協役員と協議し、勤労者支援策、中小企業労働者福祉サービスセンターを協議検討する懇談会の設置について了解を得た。	継続	懇談会を早急に設置し、勤労者支援策、中小企業労働者福祉サービスセンターについて調査検討を行い、サービスセンターについては、本年度中に検討結果をまとめる。
4	中小企業勤労者福祉サービスセンターの設置	人口40万人以上の規模が望ましいとされているため、広域的な取り組みも視野に入れ、中小企業勤労者等のニーズ把握など具体的に調査研究を行う。	H18.3	石川尚志		5月25日開催の労働会館理事会終了後、労働会館理事長、連合愛媛新居浜地協及び労福協役員と協議し、勤労者支援策、中小企業労働者福祉サービスセンターを協議検討する懇談会の設置について了解を得た。	継続	懇談会を早急に設置し、勤労者支援策、中小企業労働者福祉サービスセンターについて調査検討を行い、サービスセンターについては、本年度中に検討結果をまとめる。
5	別子山支所の庁舎建設	平成20年度からの後期新市計画の中で具体的な時期、内容を検討する。	H18.3	二ノ宮定		現在、庁舎敷地が県道の拡幅工事にかかっているため凍結状態。	継続	県の道路拡幅計画が確定され次第、検討に入る
6	別子山地区のバス路線開設事業	平成18年度から別子橋から住友病院前の区間を1日2往復4便で定期運行する。また、定期運行に伴い、車椅子対応のマイクロバスを1台購入する予定である。	H18.3	二ノ宮定		平成18年4月29日から別子山地域バスの定期運行を開始した。(1日2往復4便)車両購入は平成18年8月上旬を目標に手続きを進めている。	継続	夏休み(7月下旬～8月)紅葉シーズンなどは季節限定で3往復6便体制で運行する予定である。
7	筏津山荘改築事業	平成18年度に測量設計・基本設計に取り組み、平成20年度の完成を目指す。	H18.3	二ノ宮定	H18.5	現在、基本設計等前段作業として基本構想を策定するにあたり、コンサルトの業務委託契約を5月中に予定であり、スケジュールどおりの取り組みに努める。	継続	平成18年度は、市民懇談会(7月中に第1回懇談会開催予定)の中で基本構想を策定し、測量設計・基本設計等に取り組み、平成20年度完成を目指す。

8	別子はな街道トイレ整備事業	現在着工中で、平成18年5月末の完成予定となっている。	H18.3	二ノ宮定	H18.6	現在、建築本体がほぼ立ち上がった状況で、引き続き設備関係の早期完成に努める。	継続	6月末完成
9	農政系のホームページについて	行事等については新着情報として事前にPRするとともに、結果についても逐次報告するように、最新の内容となるよう更新する。	H18.3	伊藤初美	H18.3	行事等について最新の情報に更新いたしました。	完了	現在も随時更新している。
10	地域循環バス導入	今後、運輸観光課を中心に、生活者に密着し、来訪者の便利な移動手段として、安心して気軽に利用できる公共交通網の構築に向けて努力。	H18.3	真木増次郎	H18.6	分散した市街地間の連携を支える都市交通の機能充実と少子高齢化社会、環境負荷の軽減等に対応した都市交通戦略を策定するために都市交通計画策定事業として6月補正計上した。	継続	都市交通計画策定調査の業務委託・策定委員会の設置協議、庁内委員会の設置協議を行い、今年度中に交通課題とその分析をまとめる。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【建設部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	郷松の端線	観音原側の市有地に関連した境界確定については、県と協力して事業の推進を図る。	H18.3	仙波憲一	H18.5	早期の境界確定がなされるよう市管財課と情報交換を行う	継続	早期の事業進捗が図れるよう県及び関係機関との協力体制を堅持していく
2	道路の雨水排水	壬生川新居浜野田線の路面排水対策について、原因排除の対応を県に要望する。	H18.3	明智和彦	H18.4	特に排水の悪い郷1丁目(サンビック前)から神郷小学校の間について、対策を西条地方局建設部へ要望した。(南から北に流れる水量が多いため、東高校付近で、道路排水側溝をショールカットして川に流すことで協議中)	継続	H18年度より道路排水側溝等の整備による対策が逐次実施される予定。
3	新市計画の見通しについて(別子山活性化推進住宅新築事業)	18年度に建設予定地を確保し実施設計を行い19年度に活性化推進住宅4戸の建設を行う	H18.3	二ノ宮定	H18,H19	予定どおり事業を実施する。	継続	平成18年度は9月末までに別子山支所と協議して建設予定地を決定し実施設計を行う。また平成19年度は活性化推進住宅4戸の建設を行う
4	土地区画整理事業区域内の県道整備に係る県費助成	土地区画整理事業区域内の県道整備について、県費補助制度がないことから、今後も愛媛県に対し県道整備に係る県費の助成をお願いしていく。	H18.3	二ノ宮定	H18.7	毎年「重要施策の推進に関する要望書」により県に要望している。18年度も要望する予定。	継続	平成18年度「重要施策の推進に関する要望書」により要望する予定。

5	市政運営と安全安心のまちづくりについて	木造住宅耐震診断周知方法の検討	H18.3	二ノ宮定	H18.7	市民の目に触れやすい回覧板を利用して周知を図る。	継続	H18.7募集要項市政だよ り掲載 募集回覧予定
6	貨物ヤード	貨物ヤードの移転については、鉄道の高架、駅南の面的整備との関連において検討してきた。今後、JR貨物、JR四国、荷主との調整、地元合意、用地確保、アクセス道路の整備などの課題について検討を進めるとともに、引き続き関係機関へ積極的に働きかける。	H18.3	藤田幸正	H17～ H18	H17、H18年度で見直し中の都市計画マスタープランの中で、鉄道の高架、駅周辺整備とともに貨物ヤードの移転について検討する。	継続	JR松山駅鉄道高架事業の進捗状況を踏まえ、引き続き関係機関と協議する。
7	アスベスト問題について	民間建築物についてアスベスト対策未対応の指導と未回答の実態把握に努める。	H18.3	岡崎溥	H18.6	アスベスト対策未対応及び調査未回答物件について、定期的に報告の依頼を行う。	継続	H18.6報告依頼予定
8	市営住宅の修理改善建替え計画	住宅用防火警報器設置については、平成18年度61棟1021戸を計画しており、残りの設置については、次年度に実施予定。建替え計画については、公営住宅ストック総合活用計画に基づき考えていく。	H18.3	西本 勉	H18～ H19	住宅用防火警報器設置については、18年度予定分を契約課へ入札依頼済。 建替え計画については、財源確保の見通しを模索中。	継続	H18.6から順次設置し、H19年度で全箇所完了予定。 建替え計画については、なるべく早急に取りかかる。
9	入居申込手続き事後審査方式の導入	応募者の経費負担の軽減を図るのがよいのか、又は、申請時に聞き取り時間が長くなり、かつ、申請内容不備により再度の来庁を求めるなど市民サービスが低下することの是非について、慎重に検討を続けている。	H18.3	真木増次郎	H18.9	本年度の市営住宅入居者募集時までに結論をだすべく検討を続けている。	継続	H18.9決定予定。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【教育委員会】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し

1	学校図書館活動について	市立図書館等関係機関とも連携しながら、司書教諭の活用を図ってまいりたいと考えております。	H18.3	石川尚志	H18.4 ~	愛媛県では9学級以上の学校に司書教諭を配置(小学校18校中15校、中学校11校中8校配置)。大生院小学校に、司書教諭の支援をするための非常勤講師を1名配属。市立図書館との情報交換や連携を図り、司書教諭の活用を図る。	継続	市立図書館と学校図書館主任(司書教諭含む)との連絡会や研修会を開催する予定。6月29日に宮西小学校を会場として、県立図書館主催のブックトークの研修会があり、研修終了後、司書教諭等と市立図書館との情報交換会を行う予定)
2	栄養教諭への支援 指導	指導案や教材作成等の自主的な研修や教科・教科外研修会にも栄養教諭の参加を求め、専門的な資質、指導力の向上を図ってまいりたいと考えております。	H18.3	石川尚志	H18.4	今年度から新居浜市に1名栄養教諭が配置された。(高津小学校)県教委による12日間の校外研修、15日間の自校研修が位置付けられている。	継続	市栄養教諭専門部会などで、他の栄養職員に対し指導的な役割を果たしていくよう支援する予定。
3	障害児教育、特別支援教育の方向性	各学校において特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育校内委員会や特別支援教育に関する校内研修会の充実を図っていくことが大切であり、児童生徒一人一人のニーズを的確に把握し、個別の支援計画について検討していかなければならないと考えております。また、今治養護学校新居浜分校との交流や連携を通して、養護学校が持つ専門性を新居浜市の特別支援教育に生かしていきたいと考えております。	H18.3	石川尚志	H18.4	今年度開校した同分校との交流をすでに開始している。新居浜市就学指導委員会委員の委嘱。上部合同学習会、市特殊学級担任研修会、ふれあい運動会、就学指導相談会等に分校の教職員、児童・生徒が交流している。特別支援学校を特別支援教育のサポートセンターとして機能させるべく、新居浜市教育委員会として働きかけを継続する。	継続	新居浜市特別支援教育コーディネーター連絡会(仮称)を開催し、各学校における個別の支援計画を策定へのフォローアップを図る予定。

議会答弁課題の進捗状況整理表

部局名【消防本部】

番号	答弁課題				進捗状況			
	項目	答弁内容(課題)	答弁年月	質問議員	実施年月	対応内容	対応結果	今後の見通し
1	住宅用火災警報器の設置	住宅用火災警報器の既存住宅への設置が平成23年度から施行となるが、弱者、低所得者等に対する補助制度の創設について	H18.3	藤原雅彦		予防課、防火管理協会などで、法改正の周知を図っているが、補助制度については、関係部局と協議して進める。	継続	新居浜市補助制度の公募申請があがれば、関係各課と協議の予定

2	21世紀の消防団	平成13年に消防団活性化委員会が設置され諸課題を検討改善しているが、今後の消防団活性化策については、第三者機関による審議も視野に入れ検討する。	H18.3	藤田幸正	17年度活性化委員会で事務局案が認められない結果となったため、今後は第三者機関による審議を視野に準備を進めている。	継続	消防団の問題は、消防広域化と密接に関係するため、広く意見を求め、情報の収集に努める。
---	----------	---	-------	------	---	----	--